

# 次号予告と今後のご案内

2016年10月号 vol.2 no.3

## Feature Topic

### 本当に使える免疫療法

——がんの治療はどうなるのか 企画：北野滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）

「免疫療法の時代」がすぐそこまで来ています。本庶佑名誉教授（京都大学）らの研究チームによる「PD-1」発見（1992年）から20年余り。臨床での治験が加速し、実用化が進んできました。がん治療第4の柱とも言われる免疫療法は臨床をどう変えるのか。

## View-point がん診療

### 「原発不明がん」 企画：公平 誠（公平病院）

悪性腫瘍の数%ともいわれる原発不明がん。臨床上では除外診断となるため、がん診療の専門家だけでなくは見逃しも多く、時には全身検索をただ繰り返してしまうことも。そんな原発不明がんの「いろは」から、最新の対応までを紹介します。

2017年2月号 vol.3 no.1

## Feature Topic

### 「みえない副作用」

がん診療の場において、治療に付随した副作用マネジメントを取り入れることはもはや必要不可欠のものとなっています。しかしながら、医療従事者が日々対峙している副作用とは、本当に「マネジメント」できる代物ばかりなのでしょうか。添付文書には書かれていない、でも確かにそこに存在する副作用を見つめ直します。

## View-point がん診療

### 「前立腺がん」

高齢者に多く、男性がん死亡全体の約5%を占めるといわれる前立腺がん。PSAにより早期の診断が可能となったことも相まって、罹患数は増加傾向にあります。超高齢時代において避けては通れないこのがんの「今」を、エキスパートが解説します。

#### 学会・研究会情報掲載します

『Cancer Board Square』では「がん」に関する、学会、研究会、公開型の勉強会などの情報を無料で掲載いたします。編集室までお気軽にご連絡ください。

#### カンファレンス取材のお願い

あなたの施設のカンファレンスを『Cancer Board Square』に掲載しませんか？本誌では、がんに関わるカンファレンスの取材先を募集しております。

- ・ Cancer Board
- ・ 診療科横断型のグランドカンファレンス
- ・ Death Conference
- ・ CPC
- ・ ナースによる振り返りカンファレンス
- ・ 若手の症例検討会

など、公開可能な活発なディスカッションの場がございましたら、編集室までぜひご連絡ください。

03-3817-5714（編集室直通）

cbs@igaku-shoin.co.jp

\*これら特集テーマについては変更の可能性がありますことをご了承ください。